

第17期 (2019年度)の講座の中で、1日体験入学 が可能な講座です

講師の都合などで日程・会場などが変更になることがあります

講座日	テーマ	講師(敬称略)	会場・場所	講座の内容
6月12日(水)	水田を見るー稲作管理の実態と環境	松下美郎	能勢平野	田植えの終わった谷津田を歩き、日本のコメ作りの現況とその環境を知る
6月19日(水)	磯の生き物調査と観察の仕方	田中広樹	長松海岸(岬町)	干潮の磯で様々な生き物を観察し、大阪湾の環境について考える
8月3日(土)	淀川のワンド群における自然再生	河合典彦	城北ワンド	淀川のワンドの成因と環境を知り、イタセンパラ保全活動や生き物の観察をする
8月7日(水)	ツバメの ^{ねぐら} 入り	高田直俊	京阪観月橋駅(日没時間講座)	宇治川(向島)にて約3万羽のツバメのねぐら入りの観察をする
9月4日(水)	信太山丘陵の保全ー湿地環境と植生	田丸八郎	信太山丘陵	信太山の自然を守る運動から、保全運動の理念・目標、具体的な運動手法などを学ぶ
9月14日(土)	野生動物との共存	鳥居春己	奈良公園	奈良公園のシカを軸に人と野生動物とのかわり方を考える
10月9日(水)	秋の植物観察ードングリを中心に	木村 進	泉北・光明池	植物の生活史と生存戦略について学ぶ
10月30日(水)	昆虫の分類と生育環境	中谷憲一	高槻市立自然博物館	芥川の水生昆虫を観察しながら昆虫の生態について学ぶ
11月6日(水)	きのこ・菌類の分類と役割	澤島拓夫	近畿大学農学部	菌根菌の生態的役割・キノコの分類と同定方法について学ぶ
11月27日(水)	淀川の自然環境復元	高田直俊	淀川左岸橋本～御殿山へ	生き物や復元されたワンドを見ながら、水域環境の現状と課題を考える
12月14日(土)	渡り鳥飛来地の復元	高田直俊 関 優	南港野鳥園	南港野鳥園の歴史と現況を知り、鳥の飛び仕組みや干潟の渡り鳥の生息環境を見る
1月15日(水)	里山を知るー現状と保全の方法	田淵武夫	富田林・奥の谷	長年、保全活動を継続している現場を歩き、自然環境保全の考え方、手法などを体験する



受講時間は各講座とも 10:00 ~ 15:30 頃 (8月7日を除く) 原則として雨天決行

※ 野外での活動が中心になりますので、軽ハイキングをする程度の体力が必要です。



磯の生き物(2018.6)



昆虫の分類と生育環境(2018.7)



淀川の自然環境復元(2018.12)



里山を知る(2019.1)



各講座の写真は市民大学のページ(http://www.nature.or.jp/training/shimin_daigaku.html) 内の

自然環境 **市民大学講座アルバム** で見るができます



第18期(2020年度) 自然環境 市民大学 受講生募集予定

講座期間 : 春夏コース 2020年 4月~9月 17回講座

秋冬コース 2020年 10月~翌年3月 18回講座

受講料 : 30,000円(両コース受講の場合、2コース目は27,000円)

申し込み : 2019年11月より受付開始

第17期 秋冬コース(2019年度)は只今先着順受付中 2019年9月末まで

